

平成 30 年度 事業概要及び報告

1 はじめに

当財団は、設立趣旨ならびに寄付行為に基づき、首里城に関する展示資料の収集等を目的とした首里城基金が設置され、基金の造成、管理及び運用の諸事業を実施している他、首里城公園等に関する調査研究、普及啓発等の事業を行っている。詳細については、下記のとおりである。

2 財団の事業概要 (※一部抜粋)

◆首里城に関する調査研究事業

- (1) 正殿漆塗装関連資料の調査研究
- (2) 在外首里城関連文化財の調査研究
- (3) 御後絵の調査研究
- (4) 首里城正殿三御飾等道具の調査研究
(道具類の製作及び往時の製作技法の復元)

◆首里城に関する普及啓発事業

- (1) 琉球王国関連資料の展示
- (2) 首里城講座の実施
- (3) 首里城見学会の実施
- (4) 図録や小冊子等印刷物の発刊
- (5) 出前講座
- (6) 体験学習会の実施
- (7) 地元団体との連携事業の実施
- (8) 職場体験、研修生等の受け入れ

◆その他の事業

- (1) 共同研究事業の実施 (大学等)

3 平成 30 年度事業報告

1) 首里城に関する調査研究事業

(1) 首里城の歴史、伝統美術品等に関する調査研究

① 御後絵復元制作

首里城公園友の会によって調査・制作された「尚育王御後絵」に続き、当財団にて「尚灑王御後絵」の模造復元製作を行った。平成 30 年度は、過年度に着手した「尚穆王御後絵」の模造復元製作を継続し、線描転写を終えた本紙に彩色を行い仕上げた。

② 在外首里城関連文化財の調査研究

県外を含めた調査業務の見直しのため、過年度に行った調査資料を取りまとめ整理し情報収集を行った。

③ 首里城正殿三御飾復元制作業務

かつて首里城正殿において正月儀式で使われていた「首里城正殿三御飾道具」の復元製作を実施した。平成 30 年度は、漆芸器類の軍配・采配について本製作を行い、軍配・采配それぞれに漆塗りを施した。

(2) 首里城正殿漆塗装材等に関する調査研究

正殿等復元建造物の維持管理技術に関する調査研究では、首里城建造物塗装の桐油彩色に関する資料収集や、岡山大学との共同研究による琉球産弁柄の安定的な生産方法について研究を行った。

2) 首里城に関する普及啓発事業

- (1) 南殿二階特別展示室において、「琉球人のピクニック～重箱・提重・湯庫～」 「琉球 美の動物園～琉球人が描いた生き物たち～」 「守れ！琉球の宝～琉球関係文化財収集初お披露目展～」 「琉球の江戸参府 琉球使節と楽童子」 「琉球のもよう～花・植物～」 の企画展を実施した。
黄金御殿特別展示室においては、「王家の秘宝」 「琉球 美の動物園～琉球人が描いた生き物たち～」 「御後絵と琉球絵画」 「琉球の江戸参府 御座楽～献上された琉球楽器～」 「祝いのお飾り～正殿の祭祀道具～」 と題した企画展を実施した。
- (2) 首里城を中心とする琉球の歴史文化について県民に広く普及啓発し、首里城公園の利用促進するため首里城講座を実施した。
- (3) 来園者の入館促進及び満足度向上を目的とし首里城見学会を実施した。公園内施設の詳細な解説を行ったほか、年間4～5回程度行われる企画展の展示の解説会や日影台（日時計）の時間測定体験、首里城内の植物に関連する歴史植物ガイドツアーなど様々な見学会を実施した。
- (4) 沖縄の歴史文化に関する知識の普及啓発を推進するため、県内の小・中学生の歴史文化学習に対し助成を行った。
- (5) 首里城公園の普及啓発を目的として那覇市内の小学校・中学校・高校を対象に出前講座を実施し、パンフレットやワークシートを活用し琉球の歴史文化や首里城公園内の各施設について解説を行った。
- (6) 首里城公園の支援団体である「首里城公園友の会」が主催する文化講演会、親子体験会、イヌマキ育樹等の事業実施に対して助成を行った。
- (7) 東京都のサントリー美術館展覧会「琉球 美の宝庫」へ資料貸し出しならびに資料解説に協力した。
また、愛知県の春日井市道風記念館特別展「琉球の書」へ資料貸し出しを行った。